

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 18 No 08

205号

平成22年 8月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

虐待を考える 2!

院長

7月28日に厚生労働省が発表した統計によると、全国205カ所の児童相談所が09年度に児童虐待として対応したケースは44,210件と前年より1546件増え、過去最多となっていました。また、同じ厚労省の統計ですが、08年度に虐待死が疑われるのは64件(67人)もありました。あくまでもこれはひとつの統計で、NPOがまとめたデータでは年に200人以上の子ども達が亡くなっているとの推測もあります。マスコミでも悲劇的な虐待のケースが報道されたのを合わせて、また虐待について考えたいと思います。

ご存知とは思いますが、大阪のマンションで「異臭がする」という通報で駆けつけた警察官が、3歳と1歳のきょうだいの白骨化した遺体を発見したというものです。あくまでもマスコミで報道されたもので、必ずしも信実ではないかも知れませんが、簡単に説明をします。母親は風俗店勤務で、1年前に離婚し、働きながら子育てをしていたようです。ブログには、子どもに対する愛情表現があり、ある時期までは普通に子育てをしていたと思われる。今年の3月以降子ども達の泣き声に気づいたマンション住民から虐待ホットラインに3回通報し、大阪市子ども相談センター(児童相談所)は5回も家庭訪問していました。しかし、子ども達の安否が確認できないまま、悲劇が起こってしまいました。その後の情報によると、きょうだいは6月ごろに亡くなっていたものと推測されています。今回のケースは虐待のうちでも、ネグレクト(詳細はH19.12月号)と呼ばれるものです。子ども達がどんな思いで、亡くなっていったかと思うと涙をこらえ切れません。子ども達には何の罪は無く、親を頼りに生きるしか術はありません。その親に見放され、空腹のまま、じりじりと死を迎えたと思うと、本当に悲劇的な事件です。理由は詳しくは述べませんが、あまりにも身勝手な言い分には、憤りさえ覚えました。

平成20年4月に改正された児童虐待防止法では、児童相談所の権限を強くし強制立ち入り調査が可能になりました。しかし、今回のケースでは強制立ち入りがされないまま、子ども達が亡くなってしまいました。強制立ち入りは、法律用語では“臨検又は搜索”と呼

ばれ、“(一部略)児童虐待が行われている疑いがあるときは、児童の安全の確認を行い又はその安全を確保するため、児童の住所又は居所の所在地を管轄する地方裁判所、家庭裁判所又は簡易裁判所の裁判官があらかじめ発する許可状により、児童相談所の職員等に児童の住所若しくは居所に臨検させ、又は児童を搜索させることができるものとする。”と定義されています。しかし現実には、裁判所が関与するため様々な手続きが必要となり、強制立ち入りのケースは極めて少なく昨年はわずか1件だけでした。

マスコミでは児童相談所や行政の対応に問題は無かったのかが、いつも問題になります。7月13日に宮城野区の乳幼児健診担当者懇談会が開催され、その場でも児童虐待が話題になりました。我々の知らないところで虐待の対策が行われ、仙台市要保護児童対策地域協議会が設立され、「子育て支援にかかわる機関連携が向上することで、学齢前期(新生児・乳児期・幼児期)など早期の段階での児童虐待の発見が増える」という取り組みがなされています。

では、どうすれば虐待を防ぐことや減らすことができるのでしょうか。これは本当に難しいことで、簡単なことではありません。児童相談所や行政の対応を非難することは簡単ですが、それで解決するものではありません。我々小児科医の大きな目的は、やはり早期発見に尽きます。早めに発見して、児童相談所につなぐことが重要な役割です。但し、虐待の場合には、医療ネグレクトもあり、医療機関を受診しないため早期発見が難しいことになります。もうひとつの役割は、子育ての不安・心配の解消に力を貸すということです。統計上でも明らかですが、とくに母親の場合には、“子育ての不安や心配”が方向性を変えて虐待につながると言われています。虐待で死亡することや障害を残すことは、病気と同じように考えなければなりません。病気であれば、予防することが最も重要であることには疑う余地がありません。記事を書いてきて2年前12月のことが思い出されます。その後の新聞でも紹介しましたが、死亡した日例4の赤ちゃんをお母さんが抱っこして連れてきました。このケースは病気と扱われましたが、実態は虐待なのでしょう。親子共々のことを考えると、なんとか防げなかったのかと、予防の重要性を覚えてくれた赤ちゃんでした。

さて皆さんは、何をしたらいいのでしょうか。まず大事なことは、いい機会ですから虐待について考えてみてください。虐待を見逃さないように、疑いがある場合には児童相談所に通告(通報)することも大切なことであることを覚えておいてください。そして、自分が虐待をしそうになったら、誰かに救いを求めることです。話すだけでも気が楽になります。子どもに対する自分の対応が気になったら、お友達やクリニックにでも気軽に相談してみましよう。

8月のお知らせ

- ・夏季休暇
8月12日(木)～18日(水)
- ・学会による休診
8月27日(金)～28日(土)
- ・栄養育児相談
第1, 3水曜日 13:30～
栄養士担当 参加無料



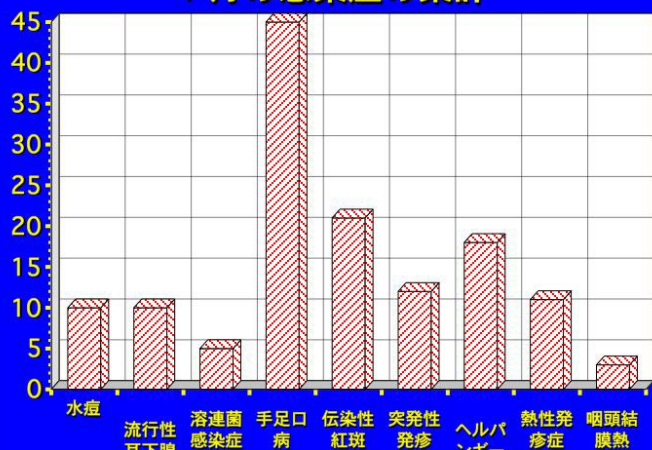
麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
“すべての子どもたちにすべてのワクチンを”

読者の広場

先月は14通のメールを頂きました。Mail Newsを配付するようになってから、少し増えているような気がします。まずは宮城野区の三浦さんから、「こんにちは三浦ピリンの母です。いつも返事を出しそびれてしまってます…。私は携帯でいつも情報が頂けて、とても有り難く感謝してます。タイムリーな情報なので知識として役立ってます！お忙しい先生に申し訳ないですが…。今回の水いほのお話も、とても役立ちました。娘の腕の手首よりに肌色の湿疹が出て、すごく気になっていたのですが掻く訳でも痛がる訳でもなく何だろうと思ってました。アトピー？気味で通った皮膚科では汗疹とは言われたのですが、水いほの記事を読みながら「同じ!？」と反応してました。100名突破もおめでとございました！これからも、ご無理のない範囲で、よろしく願います。」。続いて宮城野区の今野さんから「お世話になっております今野瑛翔・叶翔・煌梨です。今回の記事、とても参考になりました。以前に先生から両内容について説明を受けたり、クリニックニュースで読んだりした記憶がありましたが、さらに解りやすく、なるほど!と安心したり、知らないママさんに聞かれたら記事を元に教えてあげられたり何よりも、自分自身の知識が深まり、子育ての強い味方になります！ありがとうございます!!」。7月には“プール熱と水いほ”、“熱中症”の情報をMail Newsで流しました。お知らせだけでなく、その時期に合った医学情報も流しています。役に立っているようで、安心しました。最後は青葉区の高倉さんから「こんばんは。高倉灯・碧の母です。明日16日に予防接種で伺います。灯は注射のことを考えてなかなか眠れなかったようで、23時過ぎまで起きていました。「あしたかわむら先生のところで注射するんだよね。碧はまだ1歳だから泣いちゃうね。灯君は4歳だから泣かないけどさ」って5回くらい話してました。あと「注射はこっちにするのかな」「何時に行くのかな」「雨が降ってもやるのかな」等々話題は注射関連のことばかりでした。明日はどんな反応をするでしょうか。2月に入院して以来「入院ごっこ」をよくしています。ダイニングの椅子を2つ並べて、そこに寝ころび、腕にはセロテープやらシールやらを貼り「入院中で～す」って1人が言うと、もう1人は「はいお熱測ります」とか「注射します」とか言って看護します。順番に患者と看護師の役をやっています。明日からは注射ごっこをやります。クリニックからのメール、いつも楽しみにしています。パソコンのアドレスを登録しているの、メールチェックが遅れるとTVの情報などは「もう終わってる…」ということもありました。でもHPから動画が見られるようになって良かったです。CLINIC NEWSは毎月通院しているの、前のままでいいというのが私の気持ちです。でも遠方の方とかは喜ばれるのでは？先生は忙しい中でも新しいことに挑戦したり、世の中のことに敏感に反応したり、すごいですね。そのパワーはどこから湧いてくるのでしょうか？スタッフの皆さんもいつも元気でテキパキして気持ちがいいですね。子供たちの暴走にも嫌な顔しないで付き合ってくれて、感謝です。それでは、明日よろしく願います。」。こうやってお家の状況を知らせてもらうと、親近感を感じます。注射の前日の緊張した感じが、うまく伝わってきました。ありがとうございました。ちなみに、灯君は泣かずに接種ができたことを皆さんにお伝えてしておきます。



7月の感染症の集計



大流行の水痘でしたが半分以下に減りました。近くの小学校での流行でおたふくは、また増えました。手足口病が45人と近年では最高の数です。しかし、脳炎などの重症例はありません。伝染性紅斑(りんご病)も増加しています。高熱とのどの痛みのヘルパンギーナ(夏カゼ)も多く見られますが、むしろのどに水疱がでない咽頭炎が多い印象です。目やにを伴う咽頭結膜熱、いわゆるプール熱もありますが、多くはありません。

Mail News 発行のお知らせ

従来HP、院内掲示などの方法で、情報を提供していましたが、迅速性に欠けました。その解消のためMail Newsを発行しています。現在120人を越えるお母さん方に登録をいただいています。携帯でもPCでも可能で



す。右上のバーコードでメールが立ち上がります。「登録希望」と登録者、お子さんの名前を書いて送信してください。携帯用HPからの登録も可能です。携帯用HPも進化しています。過去のMail Newsも読めますよ。Twitterも。左のバーコードで携帯サイトをブックマークに登録してください。

夏季休暇と学会による休診の知らせ

- ・夏季休暇
8月12日(木)～18日(水)
- ・学会による休診
8月27日(金)～28日(土)

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

“子ども手当て” アンケート回答のお願い

一面記事にも書きましたが、“子ども手当”について、その用途に対する考え方、ワクチン接種に向ける可能性について、アンケートを始めました。結果も見れます。なかなか面白いですよ。携帯の方は右側のバーコードでOKです。PCの方はHPから入れます。よろしく、お願いします。



お母さんクラブのご案内

第2回 あなたは大丈夫?! 子どもの救急蘇生

—ダミー人形を使った救急蘇生体験—

9月9日(木) 福沢市民センター 14:00～

9月9日は、偶然救急の日です。毎年恒例で好評の“あなたは大丈夫?! 子どもの救急蘇生”を開催します。患者さんのお父さんであり、救急隊員でもある、おなじみの鎌田さんが講師です。“何もしないより、蘇生を覚えて何かする”ことが大切です。人形に限りがあるので、参加は会員のみとします。

編集後記

いよいよ待ちに待った夏休みです。ゴールデンウィークは急患センターと在宅の2回の当番があり、どこへも行けませんでした。忙しい日が続く、暑さとともにうんざりです。今年はセブ島に住む友人を訪ねる一人旅です。のんびりと、そしてゆっくりと、リフレッシュしてきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!